



限界集落 INNOVATION



～買物難民を救う～

【取り組む問題】

現在、いろいろな原因で日本の買い物難民は**700万人**（経済産業省 H27 調査）いるそうです。最近では山間部などの過疎地域だけでなく、今後は都市部でも増加してくると予想されています。今回は、そんな日本の抱える問題を解決するアイデアです。

【アイデアの概要】

今回の問題は多くの問題が複合しています。そこで考えたのが、**新しい物の流れを大学生が担うというアイデア**です。

- ①大学生は限界集落へ行き、農産物を買取ります。その時に前回訪問時に聞いていた日用品も販売します。
- ②その後大学生は都市部の買い物難民の多い地域に、とれたての農産物を販売に行きます。その際も前回訪問時に聞いていた日用品も販売します。

メリットとしては、買い物難民の方が減るだけでなく、大学生にとっても経済や地域について学べたり、何より宅配業者などでは与えられない**人との交流**を生み出します。

【アイデアの内容】



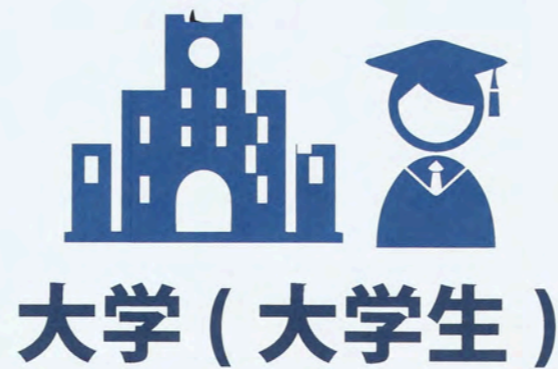
農産物



日用品

地方の限界集落の人々は、農産物を売り、その時に必要な食料や日用品を買う。

人との交流



日用品

地域学や経済を学ぶ学生が役割を担う。限界集落で農産物を買取り、都市部の買い物難民の人に新鮮な農産物を販売する。また、その過程において日用品などの販売も行う。



農産物



日用品

農産物や日用品を買う。

人との交流